

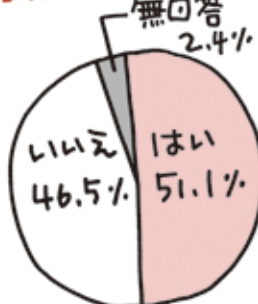


『地域の子育て』 についてのアンケート調査を 実施しました!



よどがわ市民生協では、組合員のくらしの願いの実現にむけて、さまざまな分野に取り組んでいます。2020年10月に組合員さんへ「地域の子育て」についてのアンケート調査(無作為抽出5,733人、回収率11.1%)を実施しました。全体結果を下記にて報告いたします。

Q 現在地域の子どもや子育てに関わっている?

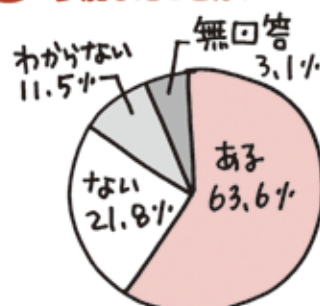


Q 地域で子どもに関する ことで気になることは?

- 夜遅くまで外にいる(複数回答あり)
- まだ小さいのに1人で遊んでいる
- いつも遅れて登校している
- 大きな泣き声・親の罵声が聞こえる



Q 地域の行事などに 参加したことは?



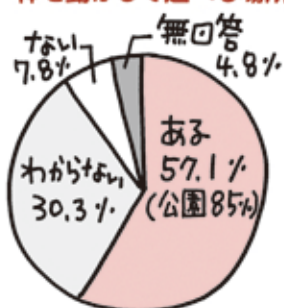
Q 新型コロナ禍での 子育ての困りごとは?

- 1位 子どもの預け先(居場所)・休校中の昼食準備
- 2位 学習面
- 3位 遊び場の制限・生活リズムの乱れ

Q 地域の子どもやわが子が 過ごす場所は?

コロナ禍以前も自宅が1位でしたが、コロナ禍以降は公園や学童・友人宅・校庭・放課後教室などが減り、自宅の子どもがさらに増えました。その他、マンション内や祖父母宅も増えました。

Q 地域で子どもと大人と一緒に 体を動かして遊べる場所は?

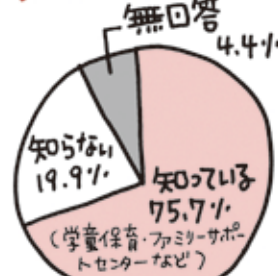


Q 子育て中で困ったときの 相談先は?

- 1位 家族…42%
- 2位 友人…34.7%
- 3位 学校などの先生…10.8%



Q 行政が行っている子育て サービスを知っている?



Q ファミリーサポートセンター を知っている?

- 1位 なんとなく…33.7%
- 2位 知らない…33.3%
- 3位 言葉だけ…18.4%
- 4位 よく知っている…11.1%
- 5位 利用している…2.2%
- 6位 活動支援している…1.3%

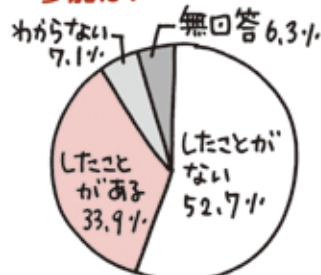
※ファミリーサポートセンターは、厚生労働省の子育て支援活動事業で、子育てを支援してほしい人と、子育てを支援したい人がお互いに信頼関係を築きながら、子どもを預けたり、預かったりする援助活動です。

Q 地域の子どもたちへの 声かけは?

- している**
あいさつは大事
顔見知り子どもへ
子どもの安全のため(見守り)
- していない**
子どもと会わない
不審者に思われるかも
声をかける理由がない



Q 行政・自治体の子育て イベントや講演会への 参加は?



Q 行政・自治体に求める 支援・サービスは?

子どもに対して

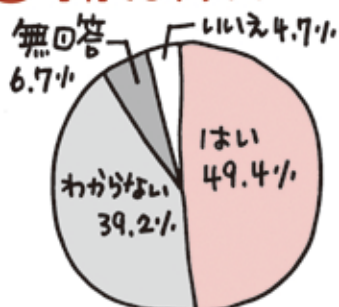
安全な遊び場
SOSスポット

親に対して

相談窓口・医療費援助・
給食・学童保育や
あずかり一時保育など



Q 住んでいる地域は 子育てしやすい?

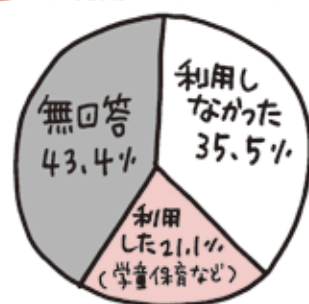


Q 子育てに関する情報の 入手方法は?

- 1位 テレビ・ラジオ・新聞…21.5%
- 2位 友人…20.9%
- 3位 SNS…19.6%
- 4位 行政広報紙…16.5%



Q 行政の子育て支援サービス を利用したことは?



Q 「安心して子育てできる」 には何が必要?

- 地域や世代のつながりが必要
- 保育園の増設や明るく整備されてトイレも安心な遊び場(公園)が必要



※よどがわ市民生協は、今後も『地域の子育てについて』何ができるのかを考え、活動します



<https://www.yodogawa.coop/>

よどがわ生協 検索



←公式facebook
「大阪よどがわ市民生活協同組合」

公式Instagram →
「@yodogawacoop」



エコアクション21
認証番号0008727

よどがわ市民生協は
環境マネジメント
システムに基づいた
とくみを行なっ
ています。